（証券コード　9697）

BIOHAZARD 5

第30期 報 告 書

平成20年4月 1 日から平成21年3月31日まで

会 社 の 概 要

（平成21年3月31日現在）

社名	株式会社カプコン（CAPCOM CO., LTD.）
設立	昭和54年5月30日
主要な事業内容	家庭用テレビゲームソフトおよび業務用ゲーム機器等の企画、開発、製造、販売ならびにアミューズメント施設の運営
資本金	330億39百万円
従業員数	連結1,813名（単体1,455名）
ホームページ	http://www.capcom.co.jp/

目　次

株主の皆様へ

辻 本 憲 三

辻 本 春 弘

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

ここに当社グループ第30期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の事業の概況と決算についてご報告申しあげます。

当連結会計年度のわが国経済は、米国の金融危機に端を発した世界的な経済低迷の影響を受け、設備投資の落ち込みや輸出が減少したほか、株価の下落、円高の進行や雇用情勢の悪化などにより景気は一段と減速傾向を強め、未曾有の深刻な様相を呈してまいりました。

当業界におきましては、家庭用ゲーム市場は新世代機の普及一巡や前期における急拡大の反動もあって国内市場は縮小いたしました。

一方、海外は世界同時不況の中、外出や旅行などを控える身近な娯楽としての「巣ごもり消費」の効果などにより、欧米の市場規模は拡大基調で推移いたしました。

こうした状況下、当社は期末に満を持して投入した主力タイトル「バイオハザード5」（プレイステーション3、Xbox 360用）の初回出荷が全世界で400万本を超える大ヒットを放ったほか、「ストリートファイターIV」（プレイステーション3、Xbox 360用）も200万本を突破するなど、海外で人気の高い両タイトルがブランドの強みを発揮し、第4四半期から販売活動が勢いづいてまいりました。

加えて、前期末に発売した「モンスターハンターポータブル 2nd G」（プレイステーション・ポータブル用）も余勢を駆って続伸するなど市場を席巻いたしました。

アミューズメント施設市場は、家庭用ゲームとの垣根が低くなったことに加え、けん引機種の不足などにより低迷状態が続きました。

他方、「逆転裁判 特別法廷2008オーケストラコンサート」、「ロックマン サマーフェスティバル2008」および「カプコン大格闘祭～俺より強い奴に会いに行く2008～」など、各種イベントの開催や積極的な販促キャンペーンを推進してまいりました。

また、当社の人気ソフトを題材にしたハリウッド映画「ストリートファイター ザ・レジェンド・オブ・チュンリー」が全世界で上映されるとともに、宝塚歌劇団とのコラボレーションである「逆転裁判ー蘇る真実ー」の上演が行われるなど、ゲームソフトとの相乗効果を創出するため、多面的なコンテンツビジネスに取り組んでまいりました。

さらに、成長余力が大きい海外展開を加速させるため、英国子会社を通じてフランスに欧州で3ヵ所目の拠点となる完全子会社「カプコン・エンタテイメント・フランスSAS」を設立したほか、市場環境の変化に対応して不採算事業からの撤退や事業領域の拡大に向けた投資を行うなど、経営資源の選択と集中を図ってまいりました。

また、当連結会計年度から適用される金融商品取引法に定められた財務報告に係る内部統制に対応するため社内体制の構築を図るとともに、業務プロセスの文書化、評価作業など財務報告の信頼性を確保するための作業に取り組んでまいりました。

なお、今年の3月に満期を迎えました第5回無担保転換社債の残額（149億93百万円）を全額償還いたしました。

この結果、売上高は円高の影響を受けましたものの918億

78百万円(前期比10.6%増)となりました。利益面につきましては、営業利益146億18百万円(前期比11.4%増)、経常利益138億8百万円(前期比12.6%増)、当期純利益80億63百万円(前期比3.3%増)となりました。

なお、当期の期末配当につきましては、1株当たり15円とさせていただきました。これにより、中間配当(1株当たり15円)に創業25周年記念配当(1株当たり5円)を含めた当事業年度の年間配当は、1株につき35円となりました。

今後の見通しといたしましては、当業界は景気動向に左右されにくいものの、消費減退が長引けば、不況の波が押し寄せてくることも懸念されます。

また、少子高齢化や娯楽の分散化、顧客消費の多様化などにより国内市場が縮小する中、企業間競争はますます熾烈を極め「勝ち組」と「負け組」が鮮明になるとともに、合併、経営統合や合従連衡などの再編により勢力図が塗り替ることも予想されます。

このような状況のもと、当社は中長期的な視点に立った戦略マップにより開発部門の拡充を図り、独創的で魅力のあるオリジナルタイトルの開発やシリーズ作品の強化、新ジャンルの開拓、提携戦略の推進などにより、国内外の顧客嗜好に適合した商品の投入に加え、付加価値の向上を図るため、人気ソフトとの相乗展開を行うことで、商機の拡大に注力してまいります。

一方、国内市場が成熟化傾向の環境下、成長戦略を実現するためには市場規模が大きい海外展開が不可欠であります。

ここ数年、当社は欧米市場において立て続けにミリオンタイトルを輩出したことにより、ファン層が着実に増大するなど、海外で強いタイトルを多数保有しており、ゲームコンテンツ資産は厚みを増しております。

こうした情勢の中、当社の強みである良質なソフト資産を活用して成長が見込まれる海外売上高比率を高めるためには、主戦場である欧米において開発、販売およびマーケティングの三部門が三位一体となって、現地のユーザーニーズに即応したソフト開発、投入を行い、顧客満足度の向上によるシェアの拡大が重要課題であります。

このため、市場動向に応じたプロモーション活動や映画、テレビなどとのタイアップによるメディアミックス展開を通じて知名度の向上や企業イメージを高めることにより、「メイド・イン・カプコン」を強くアピールしてまいります。

これらの施策を通して、日本のポップカルチャー(ゲーム、アニメ、マンガ等の大衆向け文化)人気を追い風に、世界中の若者や子供達を魅了するゲームソフトを投入し、「クールカプコン(かっこいいカプコン)」を浸透させ、海外でのアドバンテージを築くなど、日米欧のグローバルな三極体制の確立により業容の拡大を目指してまいります。

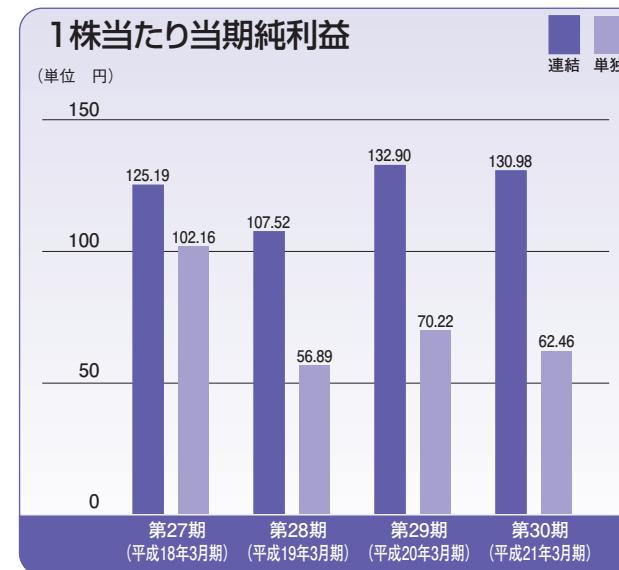
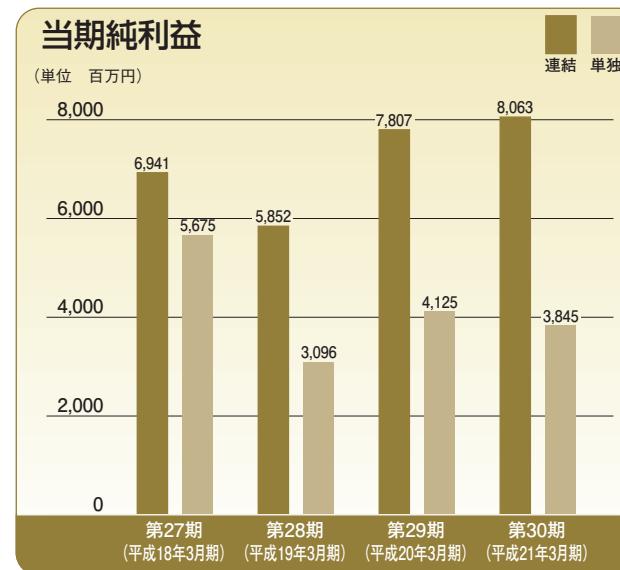
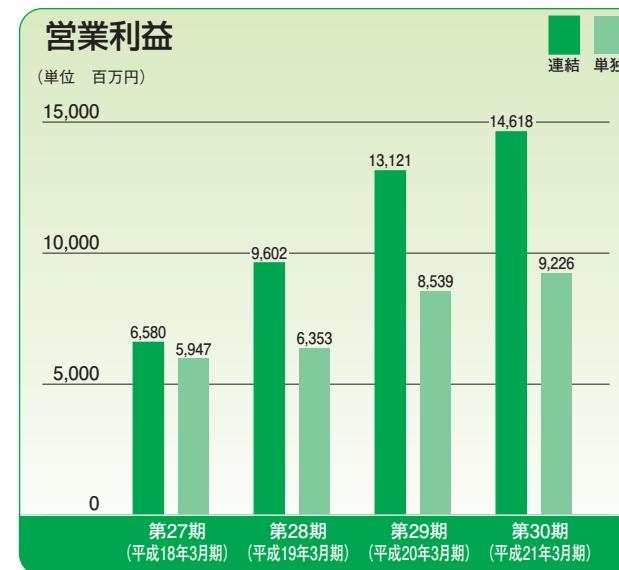
また、環境の変化に対応した組織改革や情報システムを充実させるとともに、近年子会社化した事業を早期に軌道に乗せるなど、戦略的なグループ経営により収益構造を再構築し、堅固な経営基盤を築いてまいります。

なお、危機管理の一環として新型インフルエンザ対策を進めておりますが、既にアルコール消毒剤を全事業所へ設置するとともに、マスクやうがい薬等がセットになった「衛生対策キット」全社員分の備蓄を行うなど、諸種の不測の事態に対応できるよう、鋭意努めている所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成21年6月

代表取締役会長
最高経営責任者(CEO) 辻本憲三

代表取締役社長
最高執行責任者(COO) 辻本春弘

コンシューマ用ゲームソフト部門

期末に投入した大型タイトル「バイオハザード5」（プレイステーション3、Xbox 360用）が大ブレークし、初回出荷が400万本を越える爆発的なヒットを放ったほか、一世を風靡したシリーズ最新作「ストリートファイターⅣ」（プレイステーション3、Xbox 360用）も根強いブランド力や堅調な欧米市場に支えられ底力を発揮するなど、両タイトルの主導により海外での販売拡大に弾みがついてまいりました。

また、前期末に発売した「モンスターハンターポータブル 2nd G」（プレイステーション・ポータブル用）も圧倒的な人気により快進撃を続け、業績向上に大きく貢献いたしました。因みに、同タイトルは昨年末に255万本を突破したことにより、権威ある業界誌「ファミ通」の「2008年ソフト販売本数TOP100」において堂々の1位に輝きました。

さらに、廉価版ソフト「モンスターハンターポータブル2nd G PSP the Best」（プレイステーション・ポータブル用）が安定したファン層により健闘するとともに、シリーズ最新作の「グランド・セフト・オートⅣ」（プレイステーション3、Xbox 360用）や「流星のロックマン3」（ニンテンドーDS用）も底堅い売行きを示しました。

この結果、売上高は628億92百万円（前期比21.7%増）、営業利益163億92百万円（前期比41.2%増）となりました。

「バイオハザード5」
（プレイステーション3、Xbox 360用）
新型ゲーム機ならではの迫力ある映像表現に加え、ハリウッドの映画製作で使用する技術を取り入れたことにより、「光と闇のコントラスト」に焦点を当てた、緊迫感溢れる新たな「恐怖」を実現。全世界で初回出荷としてはシリーズ最高となる400万本を超えました。

「ストリートファイターⅣ」
（プレイステーション3、Xbox 360用）
格闘ゲームというジャンルを確立したシリーズ最新作として全世界で200万本を突破。 お馴染みのキャラクター達はそのままに、新型ゲーム機の性能を発揮した美麗なグラフィックや新システムの追加により、海外で人気を博しました。

アミューズメント施設運営部門

市場停滞が続く環境のもと、各種イベントの開催、サービスデーの実施や店舗のリニューアルなどの集客展開により、女性やファミリー客等の新規ユーザーの開拓や既存顧客の深耕に努めてまいりました。

しかしながら、家庭用ゲームとの差別化が希薄になったことやけん引機種の不足等により、来場者が減少するなど既存店が振るわず、市況軟化の影響により苦戦を強いられました。

なお、新規出店といたしましては、愛知県の2店舗をはじめ秋田県、滋賀県、島根県および奈良県に計6店舗をオープンするとともに、不採算店8店舗を閉鎖するなど、局面打開を図るためスクラップ・アンド・ビルドによる施設展開を行ってまいりました。

これにより、当期末の施設数は40店舗となっております。

この結果、売上高は新店による上乗せや前期の出店効果により135億9百万円（前期比0.8%増）となりましたが、市場停滞の影響や新規開店費用の増大等により営業利益2億24百万円（前期比70.2%減）となりました。

「プラサカプコン稲沢店」
愛知県稲沢市にオープンした「プラサカプコン稲沢店」の内装デザインテーマはレトロなブリキのロボット。景品獲得ゲーム機、メダルゲーム機や大人気の通信対戦ゲームまで最新機種を取り揃え、広範な顧客層にお楽しみいただけます。

業務用機器販売部門

需要低迷を背景とした施設オペレーターの投資抑制の中、家庭用ゲームソフトとの横展開を図るため、「AOU2008アミューズメント・エキスポ」のビデオ基板部門で人気1位となったビデオゲーム機「ストリートファイターⅣ」を投入したほか、期末に他社と提携した有力ビデオゲーム機を発売するなど反転攻勢が奏効し、停滞感に覆われる現況下において、一定の成果を挙げることができました。

この結果、売上高は80億31百万円（前期比22.2%増）、営業利益17億58百万円（前期比48.8%増）となりました。

「バイオハザード」（パチスロ機）
平成8年に発売されたサバイバルホラーゲーム「バイオハザード」をパチスロ機向けに発売しました。

コンテンツエキスパンション部門

携帯電話向けコンテンツ配信事業において、人気ソフトとのシナジー展開を図ってまいりましたが、収益を先導してきた「逆転裁判」の需要一巡や訴求コンテンツの不足などにより軟調に推移いたしました。

また、市場の低迷状態が続いている遊技機向け関連機器については、「バイオハザード」が手堅い売行きを示しましたものの、期待作「春麗にまかせチャイナ」の不振に加え、商材不足や事業環境の悪化により低調裡に終始いたしました。

この結果、売上高は46億28百万円（前期比45.7%減）、営業損失2億30百万円（前期は26億33百万円の営業利益）と減収減益を余儀なくされました。

「逆転裁判ー蘇る真実ー」
当社の人気ゲーム「逆転裁判」を題材とした宝塚歌劇「逆転裁判ー蘇る真実ー」。本作は宙組公演として上演され、好評を博しました。

その他の部門

その他の部門におきましては、主なものはキャラクター関連のライセンス事業で、売上高は28億24百万円（前期比4.2%減）、営業利益10億53百万円（前期比125.0%増）となりました。

連結貸借対照表

（単位:百万円）

科目 ＼ 期別	当連結会計年度（平成21年3月31日現在）	前連結会計年度（平成20年3月31日現在）
【資産の部】		
流動資産	78,806	62,505
現金および預金	28,611	32,763
受取手形および売掛金	27,894	14,182
たな卸資産	6,588	4,144
ゲームソフト仕掛品	10,432	6,241
繰延税金資産	2,712	3,009
その他	2,949	2,620
貸倒引当金	△ 383	△ 456
固定資産	27,404	31,101
有形固定資産	15,217	15,253
建物および構築物	5,452	5,442
アミューズメント施設機器	2,892	3,849
建設仮勘定	74	291
その他	6,798	5,669
無形固定資産	3,574	4,091
投資その他の資産	8,612	11,755
投資有価証券	920	1,728
繰延税金資産	1,425	2,989
その他	7,308	8,218
貸倒引当金	△ 1,042	△ 1,179
資産合計	106,210	93,606

科目 ＼ 期別	当連結会計年度（平成21年3月31日現在）	前連結会計年度（平成20年3月31日現在）
【負債の部】		
流動負債	38,415	34,818
支払手形および買掛金	9,682	7,303
短期借入金	15,766	2,015
1年内償還予定の転換社債	—	14,997
1年内償還予定の新株予約権付社債	400	—
賞与引当金	2,091	2,057
その他	10,475	8,444
固定負債	8,445	5,128
新株予約権付社債	—	1,220
長期借入金	5,067	1,470
その他	3,378	2,438
負債合計	46,861	39,946
【純資産の部】		
株主資本	63,152	56,447
資本金	33,039	32,626
資本剰余金	21,129	20,344
利益剰余金	17,000	11,631
自己株式	△ 8,015	△ 8,155
評価・換算差額等	△ 3,803	△ 2,787
その他有価証券評価差額金	△ 12	127
その他	△ 3,790	△ 2,914
純資産合計	59,349	53,660
負債純資産合計	106,210	93,606

POINT 資産の部

流動資産は、受取手形および売掛金ならびにゲームソフト仕掛品等の増加により、前期に比べ163億円増加し、788億6百万円となりました。
固定資産は、繰延税金資産の減少などにより、前期に比べ36億96百万円減少し、274億4百万円となりました。
この結果、資産合計は前期に比べ126億4百万円（13.5%増）増加し、1,062億10百万円となりました。

POINT 負債の部

流動負債は、第5回無担保転換社債を償還した一方、短期借入金が増えたことにより、35億97百万円増加し、384億15百万円となりました。
固定負債は、長期借入44億円の実施などにより、前期に比べ33億17百万円増加し、84億45百万円となりました。
この結果、負債合計は前期に比べ69億14百万円（17.3%増）増加し、468億61百万円となりました。

POINT 純資産の部

純資産は、利益剰余金が増加したことに加え、ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債等の権利行使による資本金および資本剰余金が増えたことにより、前期に比べ56億89百万円（10.6%増）増加し、593億49百万円となりました。

連結損益計算書

（単位:百万円）

科目 ＼ 期別	当連結会計年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）	前連結会計年度（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）
売上高	91,878	83,097
売上原価	54,960	50,503
売上総利益	36,917	32,594
販売費および一般管理費	22,299	19,473
営業利益	14,618	13,121
営業外収益	1,077	1,416
受取利息および配当金	923	1,161
その他	153	254
営業外費用	1,887	2,269
支払利息	86	71
その他	1,800	2,198
経常利益	13,808	12,267
特別利益	174	762
特別損失	1,534	1,068
税金等調整前当期純利益	12,448	11,962
法人税、住民税および事業税	2,125	1,040
法人税等調整額	2,258	3,131
少数株主損失	—	16
当期純利益	8,063	7,807

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位:百万円）

科目 ＼ 期別	当連結会計年度（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）	前連結会計年度（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 551	7,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,715	△ 3,374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 342	△ 2,448
現金および現金同等物に係る換算差額	△ 845	△ 3,887
現金および現金同等物の増減額	△ 4,454	△ 2,256
現金および現金同等物の期首残高	32,763	35,020
新規連結に伴う現金および現金同等物の増加額	302	—
現金および現金同等物の期末残高	28,611	32,763

POINT 売上高

コンシューマ用ゲームソフト部門（前期比21.7%増）が好調に推移した結果、918億78百万円（前期比10.6%増）となりました。

POINT 営業利益

コンシューマ用ゲームソフト部門の収益貢献による増収効果などにより、146億18百万円（前期比11.4%増）と増益となりました。
この結果、営業利益率は0.1ポイント上昇し15.9%となりました。

POINT 当期純利益

売上高の増加により、営業利益および経常利益がいずれも増益となりましたが、減損損失を計上したため、当期純利益については微増の80億63百万円となりました。

連結株主資本等変動計算書

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）（単位:百万円）

	株主資本					評価・換算差額等				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	純資産合計
平成20年3月31日残高	32,626	20,344	11,631	△ 8,155	56,447	127	0	△ 2,914	△ 2,787	53,660
在外子会社の会計処理の変更に伴う増減			△ 546		△ 546					△ 546
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	412	411			823					823
剰余金の配当			△ 2,148		△ 2,148					△ 2,148
当期純利益			8,063		8,063					8,063
自己株式の取得				△ 144	△ 144					△ 144
自己株式の処分		0		283	284					284
株式交換による増加		372			372					372
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						△ 140	△ 0	△ 875	△ 1,015	△ 1,015
連結会計年度中の変動額合計	412	784	5,915	139	7,252	△ 140	△ 0	△ 875	△ 1,015	6,236
平成21年3月31日残高	33,039	21,129	17,000	△ 8,015	63,152	△ 12	—	△ 3,790	△ 3,803	59,349

貸借対照表

(単位:百万円)

科目 \ 期別	当事業年度 (平成21年3月31日現在)	前事業年度 (平成20年3月31日現在)
【資産の部】		
流動資産	49,544	43,515
現金および預金	14,578	15,733
売掛金	14,642	12,631
たな卸資産	5,226	3,787
ゲームソフト仕掛品	8,518	5,296
繰延税金資産	2,634	2,898
短期貸付金	1,344	564
その他	3,398	3,080
貸倒引当金	△ 798	△ 477
固定資産	41,330	43,715
有形固定資産	5,486	5,367
無形固定資産	2,938	2,311
投資その他の資産	32,905	36,036
資産合計	90,874	87,230

科目 \ 期別	当事業年度 (平成21年3月31日現在)	前事業年度 (平成20年3月31日現在)
【負債の部】		
流動負債	26,629	28,678
支払手形	481	1,106
買掛金	1,963	3,844
短期借入金	15,000	—
1年内償還予定の転換社債	—	14,997
1年内償還予定の新株予約権付社債	400	—
未払法人税等	185	164
賞与引当金	1,685	1,716
返品調整引当金	313	405
その他	6,599	6,444
固定負債	5,888	3,041
長期借入金	3,000	—
新株予約権付社債	—	1,220
退職給付引当金	1,166	1,045
その他	1,722	775
負債合計	32,517	31,719
【純資産の部】		
株主資本	58,651	55,617
資本金	33,039	32,626
資本剰余金	21,129	20,344
利益剰余金	12,498	10,801
自己株式	△ 8,015	△ 8,155
評価・換算差額等	△ 293	△ 106
その他有価証券評価差額金	△ 293	△ 106
純資産合計	58,357	55,510
負債純資産合計	90,874	87,230

損益計算書

(単位:百万円)

科目 \ 期別	当事業年度 (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)	前事業年度 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)
売上高	63,217	62,455
売上原価	41,028	41,217
売上総利益	22,189	21,237
返品調整引当金戻入額	91	57
差引売上総利益	22,280	21,295
販売費および一般管理費	13,054	12,756
営業利益	9,226	8,539
営業外収益	790	725
営業外費用	1,015	2,161
経常利益	9,002	7,104
特別利益	205	717
特別損失	3,202	1,126
税引前当期純利益	6,005	6,695
法人税、住民税および事業税	92	65
法人税等調整額	2,067	2,504
当期純利益	3,845	4,125

株主資本等変動計算書

(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)　(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
平成20年3月31日残高	32,626	20,344	10,801	△ 8,155	55,617	△ 106	55,510
事業年度中の変動額							
新株の発行	412	411			823		823
剰余金の配当			△ 2,148		△ 2,148		△ 2,148
当期純利益			3,845		3,845		3,845
自己株式の取得				△ 144	△ 144		△ 144
自己株式の処分		0		283	284		284
株式交換による増加		372			372		372
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						△ 187	△ 187
事業年度中の変動額合計	412	784	1,697	139	3,034	△ 187	2,846
平成21年3月31日残高	33,039	21,129	12,498	△ 8,015	58,651	△ 293	58,357

株式の状況（平成21年3月31日現在）

- 発行可能株式総数　150,000,000株
- 発行済株式の総数　67,394,568株
- 株主数　18,866名
- 大株主（上位10名）

株主名	持株数	出資比率
	千株	%
有限会社クロスロード	6,771	10.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	4,568	7.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	4,399	7.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口4G）	3,123	5.06
辻本憲三	2,206	3.57
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	1,958	3.17
辻本美之	1,669	2.70
辻本春弘	1,546	2.51
辻本良三	1,545	2.50
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	1,506	2.44

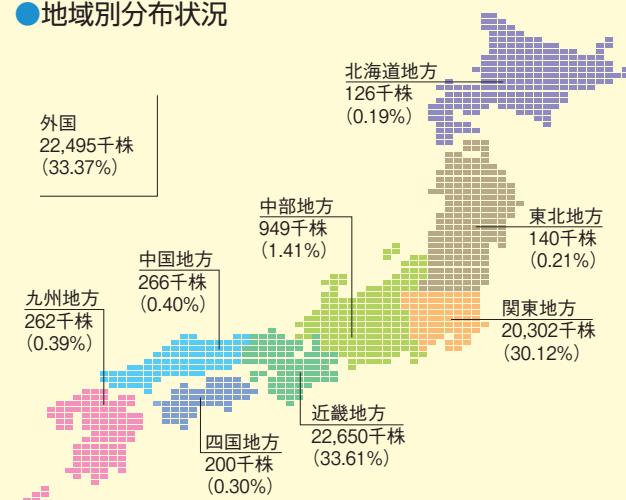
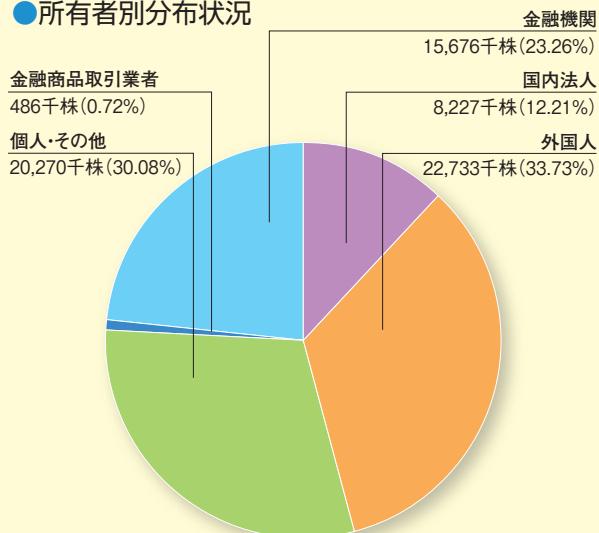
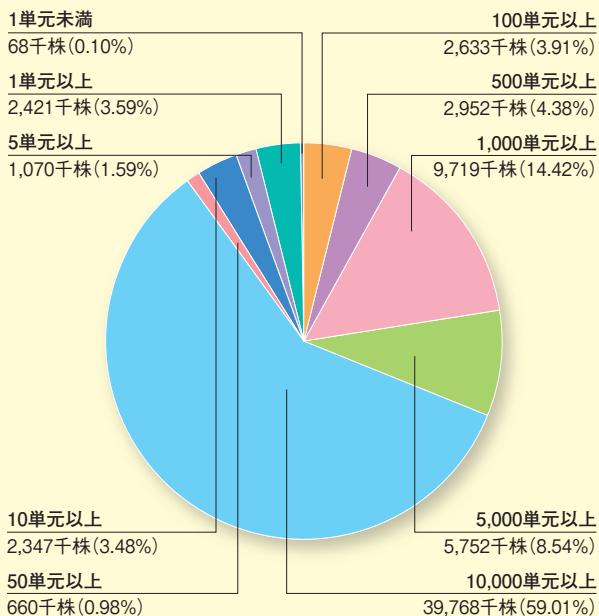
（注）出資比率については、自己株式数（5,660千株）を控除して算出しております。

●地域別分布状況

●所有者別分布状況

- 金融機関　15,676千株（23.26%）
- 国内法人　8,227千株（12.21%）
- 外国人　22,733千株（33.73%）
- 金融商品取引業者　486千株（0.72%）
- 個人・その他　20,270千株（30.08%）

●所有株数別分布状況

- 1単元未満　68千株（0.10%）
- 1単元以上　2,421千株（3.59%）
- 5単元以上　1,070千株（1.59%）
- 10単元以上　2,347千株（3.48%）
- 50単元以上　660千株（0.98%）
- 100単元以上　2,633千株（3.91%）
- 500単元以上　2,952千株（4.38%）
- 1,000単元以上　9,719千株（14.42%）
- 5,000単元以上　5,752千株（8.54%）
- 10,000単元以上　39,768千株（59.01%）

重要な子会社の状況（平成21年3月31日現在）

会社名	資本金	主要な事業内容
株式会社カプトロン	1,640百万円	不動産の賃貸および管理
カプコンチャーボ株式会社	300百万円	携帯電話用充電器の販売、レンタル
株式会社ダレット	1,090百万円	オンラインポータルの運営およびオンラインゲームの開発、運営
株式会社ケーツー	3百万円	家庭用ゲームソフトの開発
株式会社エンターライズ	30百万円	遊技機の開発、製造および販売
カプコンU.S.A.,INC.	159,949千米ドル	持株会社、米国子会社の管理
カプコンアジアCO.,LTD.	21,500千香港ドル	家庭用ゲームソフトの販売
カプコン・エンタテイメント,INC.	2,000千米ドル	家庭用ゲームソフトの開発および販売
CE・ヨーロッパLTD.	1,000千英ポンド	家庭用ゲームソフトの販売
CEG・インタラクティブ・エンタテイメントGmbH	25千ユーロ	家庭用ゲームソフトの販売
カプコン・インタラクティブ,INC.	0千米ドル	携帯電話向けコンテンツの配信
カプコン・インタラクティブ・カナダ,INC.	0千カナダドル	携帯電話向けコンテンツの開発および配信
カプコン・エンタテイメント・コリア CO.,LTD.	1,000百万ウォン	家庭用ゲームソフトの販売、オンラインゲームの開発、運営
カプコン・エンタテイメント・フランス SAS	37千ユーロ	家庭用ゲームソフトの販売

役員の状況（平成21年6月17日現在）

●取締役および監査役

役職	氏名	役職	氏名
代表取締役会長 最高経営責任者（CEO）	辻本憲三	取締役	松尾眞
代表取締役社長 最高執行責任者（COO）	辻本春弘	取締役	守永孝之
取締役	初野純孝	監査役（常勤）	山口省二
取締役	飛澤宏	監査役（常勤）	平尾一氏
取締役 最高財務責任者（CFO）	阿部和彦	監査役	家近正直
取締役	小田民雄	監査役	滝藤浩二
取締役	保田博		

（注）1. 取締役 保田 博、松尾 眞および守永孝之の各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 山口省二および滝藤浩二の両氏は、社外監査役であります。

本社ビル

「バイオハザード5」の初回出荷が全世界で400万本を超える大ヒット!

「バイオハザード」シリーズは、平成8年に第1作目を発売後、国内外で累計4,000万本以上(平成21年3月31日現在)の出荷を誇る人気タイトルです。同シリーズはサバイバルホラーという新たなジャンルを切り開き、平成21年3月に発売したシリーズ最新作「バイオハザード5」も初回出荷が全世界で400万本を突破するなど、今でもなお全世界で息が長い人気を博しています。

さらに、映像分野では全編コンピュータグラフィックスによる長編作品「バイオハザード ディジェネレーション」の出荷が150万本を超えるなど、ゲーム以外のファン層を獲得し「バイオハザード」のブランド価値が向上してまいりました。

「バイオハザード5」

「バイオハザード ディジェネレーション」

「ストリートファイターIV」が200万本突破

当社は、昨年より「ストリートファイター」発売20周年記念プロジェクトを推し進めており、「ワンコンテンツ・マルチユース」戦略のもと、10年ぶりの新作ビデオゲーム「ストリートファイターIV」の稼動に加え、今年2月28日にはハリウッド映画「ストリートファイター ザ・レジェンド・オブ・チュンリー」が全世界で公開されるなど、新規ユーザーの開拓とこれまでのファンの回帰を促し、「ストリートファイター」ブランドの再構築を図ってまいりました。これらの施策が奏功したことにより、「ストリートファイターIV」(プレイステーション3、Xbox360用)が200万本を突破することができました。

「ストリートファイターIV」

「ストリートファイター ザ・レジェンド・オブ・チュンリー」

●カプコンIRサイトのご案内　http://ir.capcom.co.jp/

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ホームページを活用したIR活動にも注力しております。

カプコンIRサイトでは、株式情報や経営戦略に加え、開発者インタビューやアナリストコンセンサスなど様々な情報提供を行っております。

当社IRサイトは、情報の充実度や使いやすさにおいて各評価機関より高い評価をいただいております。

最新情報

いま注目すべきIR情報を大きく中央に表示していることに加え、新着情報やプレスリリースなどの最新情報を素早く確認できるシステム(RSS)にも対応しております。

事業戦略・データ

当社が展開する各事業の市場環境や今後の戦略を、グラフやテキストを用いて詳細にご説明するとともに、当社の人気ソフトの販売本数などを豊富な画像、動画を用いて分かりやすく掲載しております。

個人投資家の皆様へ

当社をより深くご理解いただけるよう「当社の強み」や「市場動向」などをわかりやすくご説明しております。

カプコンIRメール

メールアドレスをご登録いただきますと、プレスリリースや決算資料などの最新情報をメールにてお知らせいたします。

携帯からもIR情報へアクセス　http://m-ir.jp/c/9697

当社の業績概況や株式情報が携帯電話から閲覧できるほか、株価の終値や最新のリリース情報も取得できます。QRコード(二次元コード)の読み取りに対応した携帯電話をお持ちの方は右の画像を読み込むと簡単にアクセスできます。

※読み取り方法についてはお手持ちの携帯電話取扱説明書をご覧ください。

『アニュアルレポート 2009』発行

経営トップ自らが、中長期の経営課題に対する具体的施策をQ&A方式にて明快に解説しております。また今後の事業戦略について、強みである多メディア展開や海外での組織体制の更なる強化など安定成長に向けた様々な取り組みを詳解しており、投資家の皆様により理解を深めていただくため内容の充実を図っております。

ご希望の方は当社広報・IR室までお問い合わせいただくか、当社IRサイトの資料請求フォームをご利用ください。

なお、発行は今年の9月を予定しております。

株式会社カプコン 広報・IR室 電話06-6920-3623

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120−094−777
公告方法	電子公告 当社のホームページ(http://www.capcom.co.jp/)に掲載します。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	東京·大阪証券取引所

(ご注意)

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社カプコン